

## 平成 19 年度公共施設循環バス（ふれあいバス）利用実績

### ■ 概 要

平成 12 年 4 月 1 日運行を開始し、当初は 1 台で 3 コースを各コース週 2 日ずつ運行していましたが、平成 13 年 11 月 22 日より 2 台で 4 コースを各コース週 3 日ずつ運行しています。運休日については、1 台運行時は公共施設の休館日である月曜日でしたが、2 台運行より、北部コースを日曜日、南部コースを月曜日とし、年末年始を除き毎日運行していることになっています。

運行開始以降、利用者アンケートなどを実施し、要望の多かったジャスコ猪名川店にバス停を設けるなど利用者の要望に対し改善を行ってきています。

また、IC カード Pitapa をふれあいバスでも利用できるようにするなど、利便性の向上にも努めているところです。

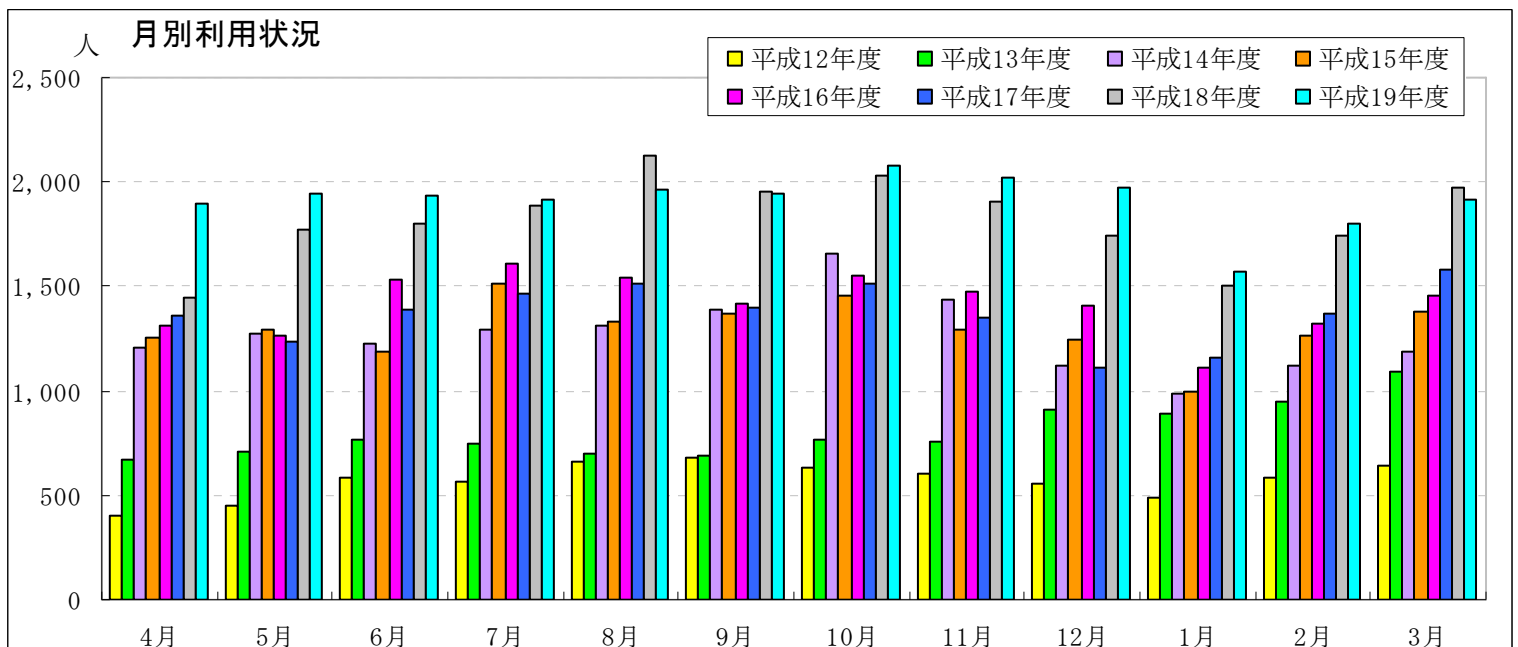
平成 18 年 5 月 1 日から町内在住の 70 歳以上の高齢者及び身体・知的・精神障害者の手帳所持者はふれあいバスの運賃を無料化し利用者の増加、福祉施策の推進にも寄与しているところです。

### ■ 月別利用状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成 12 年度	403	449	582	569	663	680	636	600	557	491	587	644	6,861
平成 13 年度	671	708	766	751	700	693	771	756	910	888	948	1,094	9,656
平成 14 年度	1,207	1,278	1,223	1,291	1,308	1,386	1,655	1,437	1,125	987	1,125	1,187	15,209
平成 15 年度	1,257	1,292	1,185	1,509	1,328	1,369	1,452	1,289	1,244	999	1,261	1,381	15,566
平成 16 年度	1,312	1,264	1,529	1,610	1,538	1,416	1,550	1,477	1,404	1,114	1,326	1,456	16,996
平成 17 年度	1,359	1,235	1,391	1,469	1,510	1,395	1,515	1,352	1,111	1,162	1,369	1,580	16,448
平成 18 年度	1,448	1,768	1,796	1,891	2,127	1,950	2,028	1,908	1,747	1,507	1,746	1,974	21,890
平成 19 年度	1,892	1,946	1,935	1,919	1,959	1,942	2,080	2,022	1,971	1,574	1,804	1,918	22,962
対前年度比	1.31	1.10	1.08	1.01	0.92	1.00	1.03	1.06	1.13	1.04	1.03	0.97	1.05

※ 平成 13 年 11 月 22 日より 2 台運行



ふれあいバス利用者は、平成17年度に若干減少したものの平成18年度には、初めて2万人を超える利用者となりました。これは、平成18年5月1日から70歳以上の高齢者及び身体・知的・精神障害者の手帳所持者の利用料を無料化したことが大きな要因になったと考えられます。

今後、更なる利用者の増加を考えた際には、高齢者の利用促進は一定の成果を上げたと考え、生産年齢層あるいは若年層の利用者確保が課題となります。

#### 平成19年度運賃収入

単位：金額（円）、利用者（人）

	輸送収入額	利用者数	グラントパス		スクールバス利用者		すこやかカード		身体障害者手帳		平均運賃
			利用者	割合	利用者	割合	利用者	割合	利用者	割合	
4月	94,750	1,892	327	17.3%	14	0.7%	929	49.1%	114	6.0%	50.1
5月	102,216	1,946	345	17.7%	17	0.9%	909	46.7%	111	5.7%	52.5
6月	94,179	1,935	333	17.2%	16	0.8%	976	50.4%	85	4.4%	48.7
7月	86,152	1,919	314	16.4%	31	1.6%	1,041	54.2%	84	4.4%	44.9
8月	103,989	1,959	310	15.8%	16	0.8%	965	49.3%	98	5.0%	53.1
9月	99,579	1,942	268	13.8%	15	0.8%	994	51.2%	101	5.2%	51.3
10月	98,991	2,080	330	15.9%	29	1.4%	1,012	48.7%	90	4.3%	47.6
11月	101,574	2,022	305	15.1%	22	1.1%	1,044	51.6%	94	4.6%	50.2
12月	95,069	1,971	323	16.4%	59	3.0%	958	48.6%	89	4.5%	48.2
1月	74,027	1,574	259	16.5%	51	3.2%	791	50.3%	69	4.4%	47.0
2月	81,370	1,804	289	16.0%	34	1.9%	991	54.9%	69	3.8%	45.1
3月	91,607	1,918	323	16.8%	43	2.2%	970	50.6%	98	5.1%	47.8
合計	1,123,503	22,962	3,726	16.2%	347	1.5%	11,580	50.4%	1,102	4.8%	48.9

	金額(円)	対前年度比 (%)
平成12年度	1,012,807	
平成13年度	1,301,509	1.29
平成14年度	1,964,565	1.51
平成15年度	1,884,166	0.96
平成16年度	1,916,404	1.02
平成17年度	1,861,754	0.97
平成18年度	1,347,891	0.72
平成19年度	1,123,503	0.83

運賃収入額については、平成14年度をピークに減少傾向にあります。

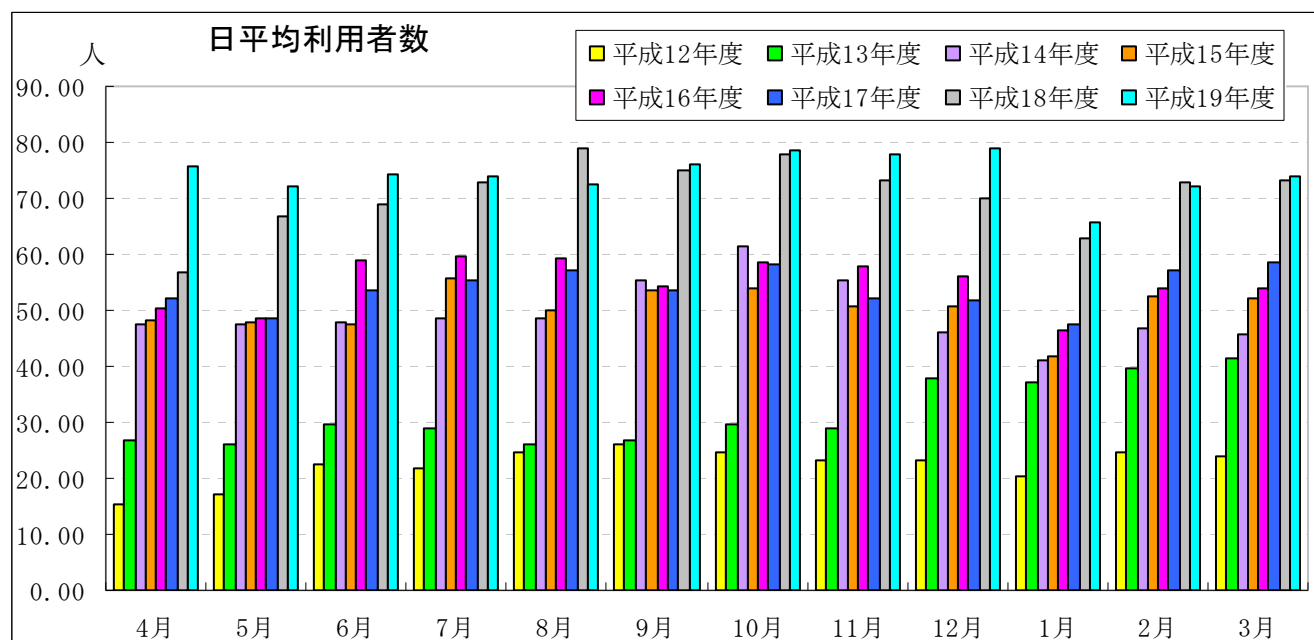
利用者の伸び率と運賃収入の伸び率に違いがあるのは、平成18年度から実施しています、70歳以上の高齢者、身体・知的精神障害者の手帳保持者の無料化が大きな要因となっています。

全体の利用者の半数以上が無料をご利用いただいていることから、今後、運賃収入については、さらに減少傾向が進むことが予想されます。

## ■ 日平均利用者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平成12年度	15.50	17.30	22.40	21.90	24.60	26.20	24.50	23.10	23.20	20.50	24.50	23.90	22.30
平成13年度	26.80	26.20	29.50	28.90	25.90	26.70	29.70	29.10	37.90	37.00	39.50	41.50	31.56
平成14年度	47.33	47.33	47.96	48.72	48.44	55.44	61.30	55.27	45.92	41.13	46.88	45.65	49.28
平成15年度	48.35	47.85	47.40	55.89	50.11	53.69	53.78	50.55	50.78	41.63	52.54	52.11	50.39
平成16年度	50.46	48.61	58.80	59.60	59.15	54.46	58.50	57.90	56.20	46.40	54.10	53.90	54.84
平成17年度	52.27	48.43	53.50	55.43	56.98	53.65	58.27	52.00	51.67	47.42	57.04	58.51	53.77
平成18年度	56.78	66.72	69.08	72.73	78.78	75.00	78.00	73.38	69.88	62.79	72.75	73.11	70.75
平成19年度	75.68	72.07	74.42	73.81	72.56	76.16	78.49	77.77	78.84	65.58	72.16	73.77	74.28
対前年度比	1.33	1.08	1.08	1.01	0.92	1.02	1.01	1.06	1.13	1.04	0.99	1.01	1.05



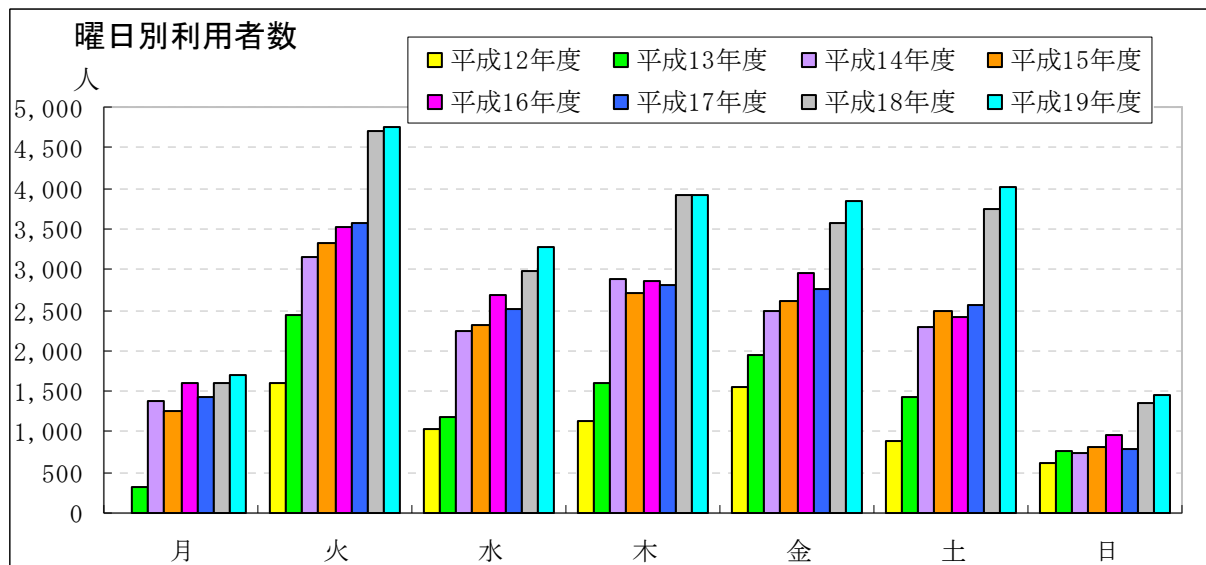
日平均利用者については、10月～12月が多くなっています。過去の統計からも10月の行楽シーズンにおける利用が多いことからハイキングなどをご利用いただいていることが推測できます。

また、通年を通して平均して利用いただいていることから、日常的に利用されている人が多くいることが推測でき、生活路線として位置づいていると考えられます。

## ■ 曜日別利用者数

(単位：人)

	月	火	水	木	金	土	日	計
平成12年度	—	1,613	1,042	1,139	1,543	899	625	6,861
平成13年度	316	2,428	1,174	1,598	1,946	1,420	774	9,656
平成14年度	1,369	3,159	2,252	2,892	2,491	2,301	745	15,209
平成15年度	1,262	3,329	2,324	2,718	2,615	2,498	820	15,566
平成16年度	1,592	3,533	2,674	2,860	2,961	2,416	960	16,996
平成17年度	1,440	3,583	2,508	2,800	2,760	2,572	785	16,448
平成18年度	1,598	4,705	2,986	3,924	3,579	3,737	1,361	21,890
平成19年度	1,708	4,750	3,267	3,919	3,850	4,012	1,456	22,962
対前年度比	1.07	1.01	1.09	1.00	1.08	1.07	1.07	1.05

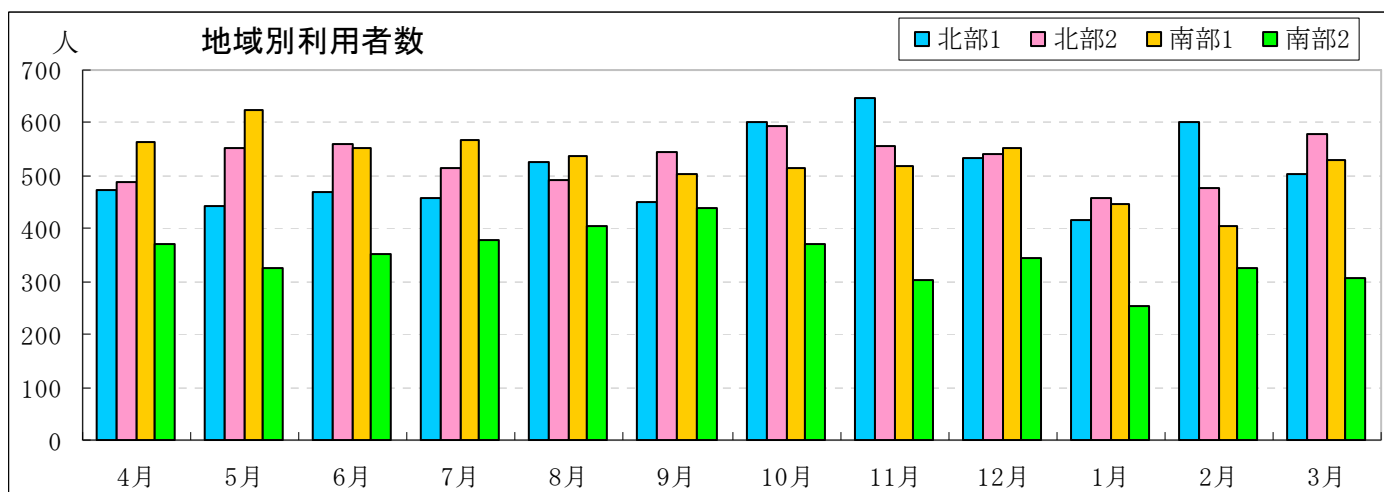


曜日別に見てみると火曜日が突出して多くなっています。月曜日及び日曜日が極端に少ないのは、1コースが運休のためです。

## ■ コース別利用者数

(単位：人)

19年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
北部 1-1	191	181	208	185	210	166	232	232	243	175	226	215	2,464
北部 1-2	141	134	121	131	167	130	170	187	151	101	191	156	1,780
北部 1-3	58	52	62	69	80	69	74	90	54	45	92	62	807
北部 1-4	82	76	77	71	69	86	124	137	84	95	91	70	1,062
北部 1	472	443	468	456	526	451	600	646	532	416	600	503	6,113
北部 2-1	193	229	215	198	192	193	225	209	191	185	186	223	2,439
北部 2-2	111	119	131	151	126	124	136	147	165	140	138	164	1,652
北部 2-3	79	80	79	63	83	96	113	87	92	70	76	93	1,011
北部 2-4	104	126	136	103	90	133	121	114	92	64	75	99	1,257
北部 2	487	554	561	515	491	546	595	557	540	459	475	579	6,359
南部 1-1	287	270	242	286	234	232	241	260	258	193	179	246	2,928
南部 1-2	182	185	210	171	188	161	170	170	195	147	136	193	2,108
南部 1-3	46	96	57	63	63	55	51	38	55	55	43	59	681
南部 1-4	48	73	45	49	53	57	53	50	46	52	47	32	605
南部 1	563	624	554	569	538	505	515	518	554	447	405	530	6,322
南部 2-1	129	84	101	116	122	132	119	87	88	63	95	73	1,209
南部 2-2	106	102	111	119	132	148	102	104	118	97	105	108	1,352
南部 2-3	82	63	92	84	68	75	66	52	79	48	68	61	838
南部 2-4	53	76	48	60	82	85	83	58	60	44	56	64	769
南部 2	370	325	352	379	404	440	370	301	345	252	324	306	4,168
計	1,892	1,946	1,935	1,919	1,959	1,942	2,080	2,022	1,971	1,574	1,804	1,918	22,962



運行コースは、1日2往復しており、○-1が午前往路・○-2が午前復路・○-3が午後往路・○-4が午後復路で分類しています。

利用者数は、各路線とも3・4の午後の便の利用が少なくなっています。このことから、ふれあいバスを利用して、施設の開所時間や受付などから、ゆうあいセンターの利用や、通院、あるいは買い物での利用が多いことが推測できます。

## ■ まとめ

ふれあいバスの運行に際しては、ジャスコ猪名川店へ乗り入れを開始したことや、つつじが丘住宅地の人口増に対応して3丁目から5丁目にバス停留所を新設したことなど利用者の要望、実態に応じた変更を随時実施してまいりました。

その結果、利用者は毎年増加傾向を示し、地域間の移動手段として位置付けられてきたと考えております。

また、地域の要望を聞く中で運行ルートの見直しを行っていますが、その反面、1コースに要する時間、距離が非常に長くなっており、利用者からは、短縮できるような改善が求められています。

しかし本町の地形的な条件や、既設路線との競合など課題は多く、これを考慮しながら可能な範囲で要望に応じてまいりたいと考えております。

これからますます進む高齢社会への対応策の一つとして、ふれあいバスの運行を利用者の立場に立って、誰からも親しまれるふれあいバスとなるよう引き続き利便性の向上に努めてまいります。